

# 世界に飛躍するグローバル人材の育成

重点要求額：9億円

## ① 高校生の留学促進、小中高を通じた英語教育強化推進事業等

### 《日本再生戦略》 (平成24年7月31日閣議決定)

#### IV. 2. (2) ②

若者の国際的視野を涵養する取組を推進し、語学力・コミュニケーション能力を含め、新たな価値やビジネスを創造できる能力を持つ人材を育成することが必要である。

#### (日本再生に向けた改革工程表)

#### (2) II 我が国経済社会を支える人材の育成 ～人材育成戦略～

＜実践的な英語教育の強化・高校生の留学促進等＞

- ・小中高を通じた英語教育の抜本的な充実・強化
- ・国際的な視野の涵養、高校留学の機運の醸成（中学生、高校生等に対する情報提供等）、留学機会の拡大

#### (2) 1.

2020年までに実現すべき成果目標：

18歳未満までの留学ないし在外経験者を3万人規模に

#### 《背景》

グローバル化が加速する社会経済の中にあつて、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神を身に付けた、国際的に活躍できるグローバル人材の継続的な育成が必要



#### 《初等中等教育段階からのグローバル人材育成の意義》

- 同世代の外国人との相互コミュニケーションを図ることにより、多様な価値観に触れる機会を確保し、学校教育を通じた国際的な視野の涵養及び異文化理解を促進
- 英語をはじめとする語学力・コミュニケーション能力の向上
- 大学レベルでの留学やその後の国際交流活動の拡大



### 《高校生の留学促進》 357百万円

海外留学する高校生の留学経費を支援するとともに（600人）、グローバル人材の基盤を形成する取組の推進を図るため、当該取組を行う都道府県や高校生の留学・交流を扱う民間団体等を支援する。



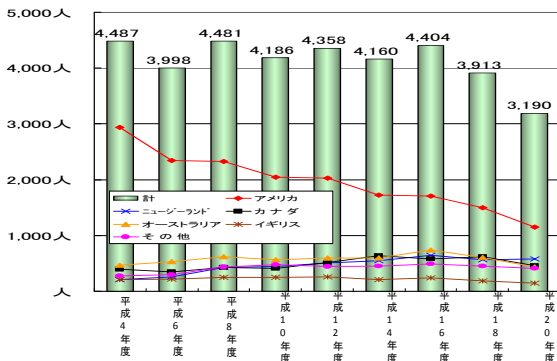
### 《小中高を通じた英語教育強化推進事業等》 507百万円

各都道府県に拠点校（中学校及び高等学校）を設けて、英語教育に関する優れた取組を支援するとともに、外部検定試験を活用した生徒の英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力の検証を行い、指導改善に活かす。併せて、教育委員会と連携した大学による英語教員集中研修や、将来的な外国語教育のあり方に関する調査研究を行う。

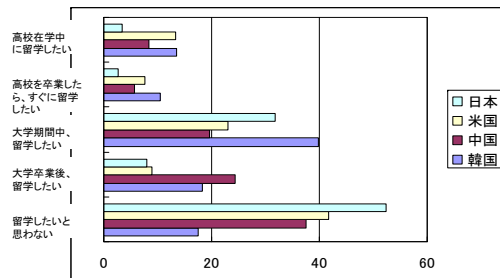
○日本人高校生の海外留学は、近年減少傾向。また、日本では留学を希望しない生徒の割合が高い。

○TOEFL iBTの国別平均では、日本は163カ国中137位、アジアの中では30カ国中28位と低位置。

○ 高校生の留学者数(3ヶ月以上)行き先別生徒数推移



○ 外国へ留学したいか



出典：「高校生の生活意識と留学に関する調査報告書—日本・米国・中国・韓国の比較」  
(日本青少年研究所, 2012年4月)

＜全体順位＞

順位	国名	TOEFLスコア
1位	オランダ	100
2位	シンガポール	99
3位	オーストリア ベルギー デンマーク	98
70位	韓国	82
102位	中国	77
137位	カメルーン クウェート 日本	69
163位	ガンビア	58

＜アジア内順位＞

順位	国名	TOEFLスコア
1位	シンガポール	99
2位	インド	92
3位	パキスタン	90
7位	韓国	82
14位	中国	77
27位	タジキスタン	70
28位	日本	69
29位	カンボジア	68
30位	ラオス人民民主共和国	66

ETS-Test and Score Data Summary for TOEFL Internet-based and Paper-based Tests  
JANUARY 2011-DECEMBER 2011 TEST DATA